

ほ場整備の状況について

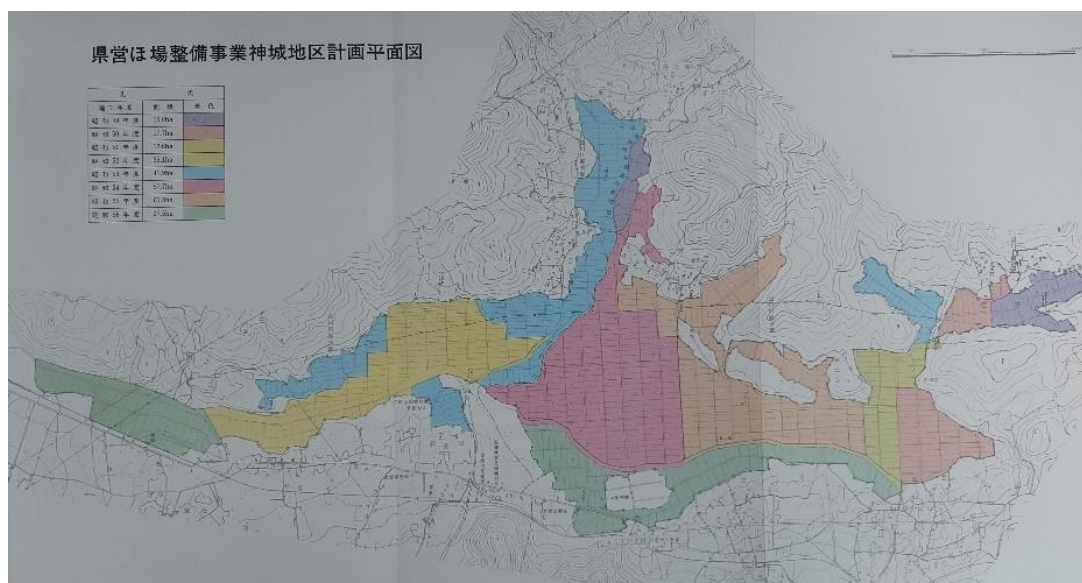
ほ場整備とは、狭小・不整形な農地や農道を改良し、優良農地にする事業です。

神城地区は、先人の大変なご苦労があり、昭和40年代から平成にかけ、事業完了しています。

北城地区は、共同施行事業として完了した地区もありますが、北城南部地区は工事が進行中、北城北部地区は事業採択に向け計画策定中です。

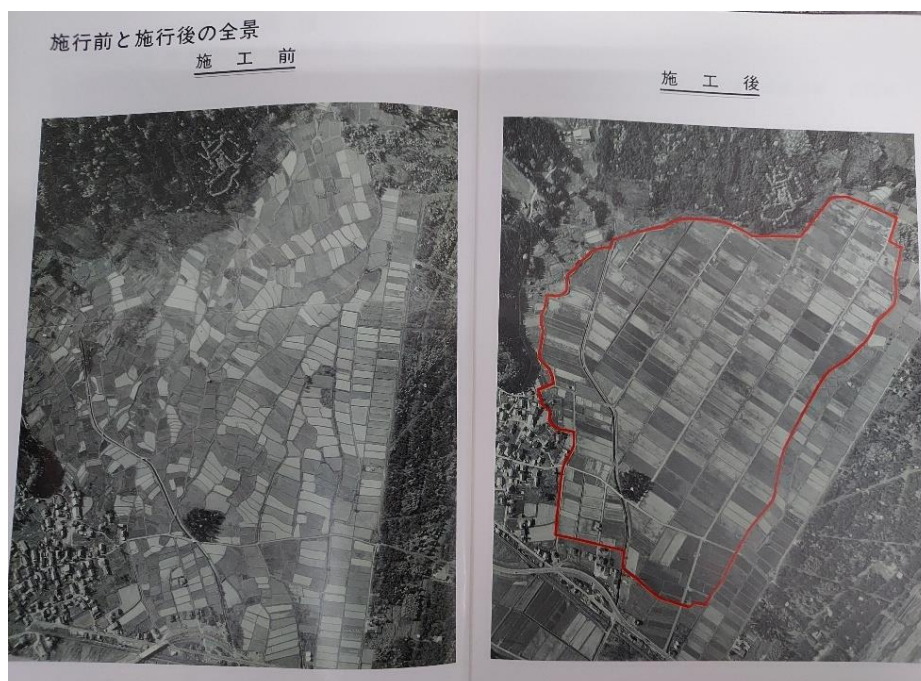
○神城地区ほ場整備（内山、佐野、沢渡、三日市場、堀之内、飯田、飯森）

面積 264ha 工期 昭和49年～昭和60年（12年間） 事業費 26億3千万円余



○飯森地区ほ場整備

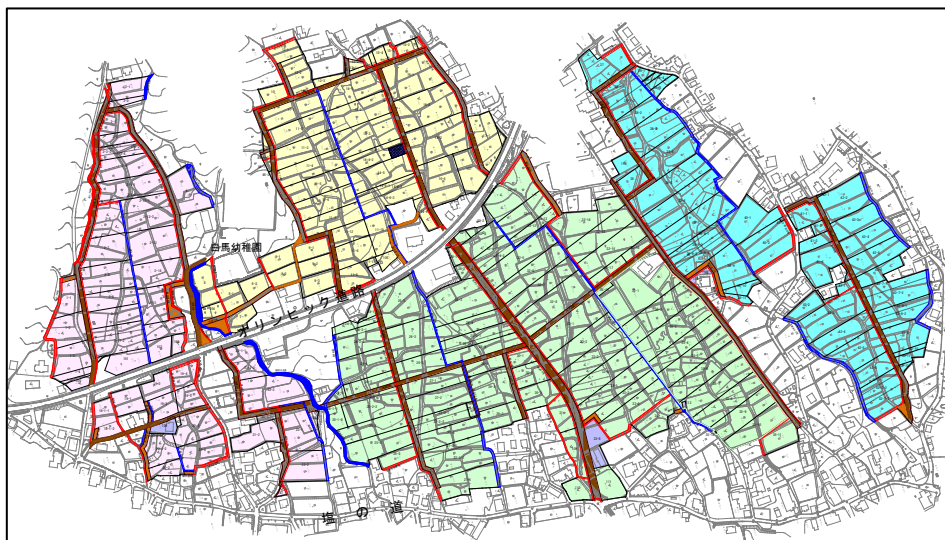
面積 72ha 工期 昭和61年～平成4年（7年間） 事業費 8億4千万円余



○北城南部地区（深空、八方口、瑞穂、白馬町）

平成27年に推進委員会を設立、平成29年に計画策定、平成30年に実行委員会に移行し、令和2年から県が事業主体となり、令和4年に全工区の工事が発注されました。

面積41h 工期 令和2年～令和6年（予定） 事業費10億5千万円（予定）



○北城北部地区（新田、森上）

平成27年に推進委員会を設立、検討を重ね、令和2年に県に営農計画を挙げました。令和3年に実行委員会に移行し、令和4～5年は地域主体で、事業採択に向け実施計画を策定しています。（予定）

